

第3回（平成17年度）受賞内容の紹介

受賞者名 (所在地)	麻生区自然エネルギー活用促進事業実行委員会 (事務局：川崎市麻生区万福寺1-5-1 川崎市麻生区地域振興課)
受賞内容 (区分)	新エネルギー普及啓発活動 (新エネルギー設備の普及啓発又は導入促進)

受賞者について

麻生区自然エネルギー活用促進事業は、自然エネルギーの活用促進、省エネルギーを目的として、区役所に設置した太陽光発電設備（発電容量5kW）を広く区民に公開し理解と関心を高めることを目的とし、区民と協働し普及啓発活動を行うことを目的としています。

麻生区自然エネルギー活用促進事業実行委員会は平成14年に発足し、上記の事業に関心のある区民により組織されています。毎月の実行委員会の開催のほか、区民向けの各種イベント、小学校への出前授業、情報誌の発行など、新エネルギー、省エネルギーの啓発活動を行っています。構成委員は12名（H18年1月1日現在）。

受賞内容について

この事例は、地域の住民が主体的に取組み、行政とうまく連携しながら自然エネルギーの活用促進に関する普及啓発活動を続けてきた点が高く評価されました。

平成16年度は学習研修事業を3回、小学校での出前授業などのイベント事業を4回、施設見学会を2回、区役所屋上の太陽光発電設備の見学を4回行うなど、積極的な活動を行っています。これらの事業の平成16年度の参加者は延べ約600人にも達しました。

川崎市麻生区役所屋上に設置された太陽光発電設備は、現在、麻生区自然エネルギー活用促進事業実行委員会の活動のシンボリックな存在となっています。今年の年末年始には区役所ホールで太陽光発電によるイルミネーションの点灯を行い、来庁者へ太陽光発電設備をPRしました。



イベントの様子



太陽光パネルと案内版（麻生区役所）

受賞者名 (所在地)	学校法人田園学園 宮崎台幼稚園 (川崎市宮前区宮崎2-3-3)
受賞内容 (区分)	環境教育用太陽光、風力発電設備の導入 (新エネルギー設備の先進的又はモデル的導入)

受賞者について

宮崎台幼稚園は昭和49年に開園し、昭和52年に学校法人化されました。「ひろい心」、「ゆたかな創造性」、「すこやかな体」を教育方針とし、環境教育にも熱心に取り組んでいます。園児数は約460名(平成18年1月1日現在)。

受賞内容について

今回受賞対象となったのは、平成14年2月から始まった園舎の全面改装工事に伴い導入された太陽光発電設備(3,000W)と風力発電のモニュメント(150W)、およびそれらを活用した総合的な環境教育です。

園舎の各階には発電状態を光や音で体感できるパネルが設置され、園児は遊びながら自然エネルギーを体感しています。幼稚園の正面脇には、風力発電、太陽光発電の発電状況や風向風速を示す表示板が設置され、通行人へこれらの設備のPRをしています。また、アルミ缶の回収活動や雨水の再利用、園歌に地球環境を謳うなど、新エネルギーを含めた総合的な環境教育に積極的に取り組んでいます。

このように、さまざまなアプローチで環境教育に努めている点が高く評価されました。



太陽光パネル(園舎屋上)



風車モニュメント(園舎屋上)



太陽光発電パネル



表示板(園正面脇)

受賞者名 (所在地)	株式会社岩中電機製作所 (相模原市小山3-5-8)
受賞内容 (区分)	小型風力発電機の系統連系用制御システムの開発 (新エネルギー設備導入に寄与する製品又は技術の開発)

受賞者について

株式会社岩中電機製作所は昭和39年に設立されました。現在は、小型風力発電機を中心とした発電機器、及び周辺機器の輸入、開発、製造や販売を行っています。自社の屋上で、開発品や輸入品の性能試験を行っています。平成18年1月現在、社員2名。

受賞内容について

今回受賞対象となったのは、小型風力発電機用に開発された系統連系用制御システム(バッテリー不使用、全自動運転)です。長年の研究開発から定格出力1.5kW、3kW、6kWの風力発電機の系統連系用制御システムを開発しました。H17年末現在、6kWシステムは2カ所、3kW以下のシステムは10数カ所、ゴルフ場や学校、清掃工場などに導入実績があります。

これまで、小型風力発電機は発電機としての機能よりも環境モニユメントとしての位置づけが強く、また、電源として独立したシステムが一般的でした。風力発電は太陽光発電と比較し一般に普及していないのが現状ですが、今回の小型風力発電機の系統連系用制御システムにより、分散型電源としての小型風力発電機の普及が期待されます。



設置された風力発電機(6kW)



制御装置

受賞者名 (所在地)	株式会社キシムラインダストリー (横浜市中区尾上町5-77-2馬車道ウエスト7階)
受賞内容 (区分)	ソーラーパワートラックの開発 (新エネルギーに関するアイデア)

受賞者について

株式会社キシムラインダストリーは平成2年に設立し、自然エネルギーを利用した各種システムの企画、設計、製作等総合的なプロデュースを行っています。従業員は7名(平成18年1月1日現在)。

受賞内容について

今回受賞対象となったのは太陽光発電パネルを車体に設置したトラックの開発です。トラックの車体の側面を生かし、広く車体に太陽光パネルを設置したことから、イベントや通常の走行時における太陽光発電のPRが期待できること、また、災害時の電源としての活用が期待される点が高く評価されました。

今回開発されたトラックは、発電容量5kWの太陽光パネルを搭載した4トン車と、2.5kWの太陽光パネルを搭載した2トン車です。この4トントラックは太陽光発電による電力を音響や照明に利用し、荷台をステージとして利用することができます。すでに、エコイベント等のステージカーとして各地で使用されています。

さらに被災地へ到達できれば太陽光を受け独立電源として機能することから、今後は、災害時の電源としての活用も期待できます。



ソーラーパワートラック(内部ステージ)



ソーラーパワートラック(側面)

受賞者名 (所在地)	社団法人鎌倉青年会議所 (鎌倉市御成町 17-29)
受賞内容 (区分)	太陽光発電照明灯の設置及び地球環境に関する啓発活動 (新エネルギー設備の普及啓発又は導入促進)

受賞者について

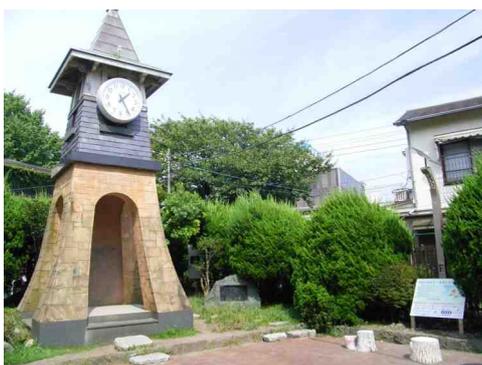
青年会議所は“明るい豊かな社会”の実現を理想とした、20歳から40歳までの青年経済人によって構成された団体です。1965年に設立された鎌倉青年会議所は鎌倉市に在住または職場がある者で構成され、大仏殿高德院で行われる慈善茶会や黄色いランドセルカバー運動、鎌倉夏祭、てらこや運動などさまざまな活動に取り組んでいる団体です。

受賞内容について

今回受賞対象となったのは、鎌倉駅前広場に設置した太陽光発電照明灯およびそれを含めた地球環境に関する取り組みです。

平成17年夏に設置した街路灯は、併せて交換された新しい太陽電池時計とともに鎌倉市に贈呈されました。また、この贈呈式に併せ、鎌倉市や技術協力を行った(株)シャープ、その他の活動の趣旨に賛同した地元を中心とした企業、市民、商店街等の協力のもと、環境フェスタ・ひまわり協賛事業を実施しました。また、地元の小学生に環境への取り組みのシンボルであるひまわりの絵を描いてもらい街に掲示しました。

この街路灯は地球環境への取り組みのシンボリックな存在となっており、今後も地道な地球環境への普及啓発活動の進展が期待されます。



鎌倉駅西口時計台広場
(時計台と照明灯)



ひまわりの絵の展示



案内版

受賞者名	ちがさき自然エネルギーネットワーク (REN)
受賞内容 (区分)	新エネルギー普及啓発活動 (新エネルギー設備の普及啓発又は導入促進)

受賞者について

ちがさき自然エネルギーネットワークは茅ヶ崎市内の会員を中心に、平成10年に設立され、地球温暖化防止のため、自然エネルギーや省エネルギーなどの普及啓発活動をしています。H18年1月1日現在、35名がRENに登録し、活動しています。

受賞内容について

今回受賞対象となったのは、地域の住民が主体となって継続しておこなわれている新エネルギーの導入促進活動を含めた地球環境保全に関する幅広い啓発活動です。

現在は年に1、2回、新エネルギーや省エネルギーに関する公開講座や講演会を独自で開催しています。また、地域の小学校への出前授業の実施、ちがさき環境フェアなどの環境イベントへの参加など、幅広い活動を続けています。さらに、年に1、2回、地元住民を中心に一般の参加者を募り、先進的な環境配慮設備の見学会を実施しています。その他、RENの活動や講演会の内容を紹介する情報誌「TOPICS」やホームページを作成し、情報発信を行っています。

心豊かに住み続けられる茅ヶ崎を目指し、独自の提案や新しい事業の検討を開始するなど、今後の活動の発展が期待されます。



出前授業の様子



イベント時の展示コーナー

受賞者名 (所在地)	横浜市水道局、横須賀市上下水道局 (小雀浄水場：横浜市戸塚区小雀町 2470)
受賞内容 (区分)	小雀浄水場への太陽光発電設備の導入 (新エネルギー設備の先進的又はモデル的導入)

受賞者について

小雀浄水場は横浜市南西部に位置する横浜市と横須賀市の共同施設です。敷地面積 246,000m² を有し、処理能力は約 100 万 m³/日と国内で 8 番目という大規模な浄水場です。このため、年間の使用電力量が約 7,000 万 kWh と環境負荷が大きい施設ですが、地球温暖化防止に向け、省エネ機器や新エネルギー設備の導入を積極的に行っています。

受賞内容について

今回受賞対象となったのは、ろ過池覆蓋および沈でん池遮光装置への太陽光発電設備の導入、および、それらを活用した地球環境保全の普及啓発活動です。

ろ過池の異物投入防止対策としての覆蓋上部に太陽電池パネルを設置しました(最大出力 300 kW)。また、沈でん池の藻類発生防止のためのフロート式遮光板の表面に太陽電池を搭載しました(最大出力 52kW)。発生電力は全て場内で使用しています。なお、これらの事業は独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の「地域新エネルギー導入促進事業」に採択され、設置されました。



見学者用電動カート

また、太陽光発電による電力をわかりやすくするために見学者案内用の電動カートを導入し、太陽光・風力発電によるハイブリッド灯を場内に導入するなど、見学者への地球環境への普及啓発活動に積極的に取り組んでいます。



覆蓋太陽光発電装置(ろ過池)



フロート式太陽光発電装置(沈澱池)